

# 20240326 話「聖書の預言を学ぶと信仰が強まる」

([20]上手に話を締めくくる。塔研 20.07 11-12 ページ 14-17 節／5 分)

1. 大患難の試練が近づいている今、皆が一層強固な信仰を築く必要がある。

この点で聖書の預言を調べるなら信仰を強化する助け得られる。どうしてそう言えるか考えて

2. 聖書預言はどんな人物に例えられる？現代に関する預言からどのように力が得られる？

信頼できる人を知れば知るほど信頼できる理由も理解でき、さらにその人への信頼感が強まるように、聖書預言を調べれば調べるほど、エホバの約束に対する信仰が強まり、平安や喜びを保てるようになる。でも信仰は個人的なものなので、それを得るには一人一人が積極的に聖書預言を調べ、学ばなければならない。

一例としてダニエル書の、まず天使ガブリエルがダニエルに語った表現に注目してみる(ダニ 8:17 後)。それでこの預言を学ぶと今が「終わりの時」の期間の中で時がかなり経過してきたことが分かる。例えば、私たちが今ダニ 2 章に出てくる夢の像の足が表わす世界情勢を目にしていること、ダニ 4 章にある木の切り株のたがが、1914 年にメシアなる王イエスが即位して外され、ダニ 7 章にある通り人の子イエスに支配権を与えられたことを理解できた。

それを子供や研究生も自分で調べるよう助けるなら、私たち皆の信仰が強化され、間もなく天の王国が人間の諸政府を粉碎し新しい時代に移ることを、皆で楽しみにできるようになる

3. こうして築かれた信仰は、現代のクリスチヤンをどのように助けてきたか？

ナチ政権下のドイツで大勢の兄弟姉妹が強制収容所に送られており、親衛隊の隊長ハインリヒ・ヒムラーはヒトラーと同様エホバの証人を憎んで証人たちに、「おまえたちのエホバとやらは天で治めるがいい。だが、この地上で支配するのはわれわれだ。」と豪語していた。しかしやがてナチ政権は崩壊し、ヒムラーは逃走中ばったり出会ったかつて強制収容所にいたリューブケ兄弟に「これからどうなるのか」と質問した。兄弟は前々からナチ政権が崩壊し、自分たちが救出されると信じていたことを説明する。兄弟たちは、ヒトラーであってもエホバの崇拜を根絶できないことを確信していて、搖るがぬ態度を保つことができた

4. 私たち一人一人も、今熱心に聖書の預言を学ぶなら、どんな力が得られる？

[左側画像] 私たちも聖書預言を深く学び、その預言のまさにどんな局面に居てエホバが物事を導いてくださっていることを確信し感謝しているなら大きな力を得ることができる。 [右側画像に注目]



大患難で敵の攻撃が迫るとしても、この若者たちの表情からも分かるように動搖せず、冷静に行動できる。では間近な将来の試練を忍耐できる強い信仰を築くために聖書預言を良く学び、子供や研究生も自分で学んで、信仰を強化するように助けていく